

民間保育園保育士版 p a r t 1

○ ご近所のみなさん、ご通行中のみなさん、こんにちは。

私は、私立保育園で働いている保育士です。（民間の保育園で働く者で作っている福祉保育労働組合です）

この場をおかりして、安心できる保育・学童保育・子育て支援の実現を求め、「子どものための予算を大幅に増やして、保育士の増員などを」と国・大阪府への署名宣伝行動をさせて頂いています。ご支援、ご協力をよろしくお願いします。

保育園は、子どもの日々の暮らしを守り、その発達を促し、子育て家族を支えるために不可欠な仕事です。しかし、保育現場は慢性的に人手が足りず、ぎりぎりの職員体制でコロナ感染対策に追われるなど緊張も強いられ休憩も取れず、こどもや保護者とゆっくりにかかわれない状況になっています。

（ できれば現場実態を具体的に ）

保育士を募集しても、低賃金・過密労働では応募もない状態です。一刻も早く保育士配置基準や労働条件の抜本的な改善が必要です。

また、コロナ禍や災害など、どのような状況にあっても、安全・安心で質の高い保育をすべての子どもに保障するためにも、保育に関わる基準や保育者の処遇を抜本的に改善することが必要です。小学校では40年ぶりに基準が改善され、全学年で35人学級が実現しました。一方で保育園の4、5歳児の配置基準や施設面積に関わる基準は、70年以上も改善されていません。また、子どもたちによりよい保育を保障するためには、そこで働く職員が生き生きと働き続けられる必要があります。

福祉保育労が取り組んだアンケート調査からも、保育の仕事は「とてもやりがいがある」「やりがいがある」と答えた方は94%です。しかし、辞めたいと「いつも思っている」「時々思う」と答えた方は69%となっており、その理由のトップ3は、「賃金が安い」「忙しすぎる」「体がもたない」となっています。

子どもたちの発達を守り、安心できる信頼関係や仕事の専門性の構築は、長く働き続けられる環境があってこそ成り立ちます。保育職員の賃金改善や大幅増員は喫緊の課題となっています。

私たちは、誰もが安心して子育てができる社会、安心できる保育・学童保育を実現するために、子どものための予算を大幅に増やすこと、保育士等の増員や処遇改善を国・大阪府に求める署名にとりくんでいます。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

民間保育園保育士版 part 2

○ ご近所のみなさん、ご通行中のみなさん、こんにちは。

私は、私立保育園で働いている保育士です。（民間の保育園で働く者で作っている福祉保育労働組合です）

この場をおかりして、安心できる保育・学童保育・子育て支援の実現を求め、「子どものための予算を大幅に増やして、保育士の増員などを」と国・大阪府への署名宣伝行動をさせて頂いています。ご支援、ご協力をよろしくお願いします。

保育園は、だれもが安心して子どもを産み育て、働ける社会を実現するために不可欠な社会的資源です。保育を充実することは子どもの権利を保障することにもつながります。しかし、この間、国や大阪府は待機児童解消と保育士不足を補うため、あらゆる規制緩和を進めています。

大阪では保育施設での死亡事故が相次ぐ中、子どもたちの命と育ちを守る保育基準や保育環境、保育の質の向上が求められています。また、この間ニュースにもなっている通園バス置き去り事故や、散歩での置き去りなど、あってはならないことが保育現場でおこっています。日常的に人手不足の保育現場では他人ごとではありません。こどもの命を守るためにも豊かな保育をおこなうためにも、規制緩和に頼らず、大阪府独自の補助制度や上乘せ施策を創設し、施策引上げが必要です。また、保育を支える職員の処遇は低く、労働環境も悪化し、保育士不足が深刻化しています。専門性を蓄積して、働き続けることもむずかしい状況です。

コロナ禍でのケア労働者のがんばりに応えるかたちで、岸田首相は保育士も含め、ケア労働者の9000円の賃上げを打ち出しました。しかし、そもそも全産業平均に比べ月7万円の差がある中ではあまりに不十分なものとなっています。また、国の低い配置基準から、多くの園では独自に人員配置をしており、全職員に配分すると9000円の賃上げには届かないということもおこりました。子どもたちの発達を守り、安心できる信頼関係や仕事の専門性の構築は、長く働き続けられる環境があってこそ成り立ちます。保育職員の賃金改善や大幅増員は喫緊の課題となっています。

私たちは、誰もが安心して子育てができる社会、安心できる保育・学童保育を実現するために、子どものための予算を大幅に増やすこと、職員の大幅増員・賃金の引き上げを国・大阪府に求める署名にとりくんでいます。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。